

## 悠紀齋田碑

明治天皇は1912（明治45）年7月30日に崩御なされた。明治天皇は61歳で崩御され、皇太子嘉仁（よしひと）親王が天皇の位を受け継がれた。新しい元号は「大正」、「天興」、「興化」の中から「大正」が選ばれ、1912（明治45）年7月30日を「大正元年」となった。

1915（大正4）年、大正天皇即位の大嘗祭を行うにあたり、儀式に用いる新米を収穫するために京都より東日本を悠紀（ゆき）、西日本を主基（すき）として二つの齋田を選定した。これは1914（大正3）年2月5日、悠紀・主基の神殿で行われた。火炎の上に悠紀・主基の亀甲板2枚をかざし、甲面に生じた亀裂が悠紀は愛知県、主基は香川県を指したことから決定されたという伝説的な記述が残っている。

愛知県は悠紀齋田に岡崎市中島町（旧碧海郡六ツ美村大字中島字丸の内）で早川定之助が所有する田を勅定した。天皇一代に1度限りの大祭である大嘗祭の齋田に選ばれたことはとても名誉なことであり、六ツ美村民はもとより、愛知県民挙げての協賛儀式が進められた。齋田地には早速、周囲に齋竹（忌竹（いみだけ）：不浄災難除けの葉付きの青竹）を立て、しめ縄が張られ標柱も建てられた。また、齋田事務所も建てられ、高橋用水も整備された。

本来は1914（大正3）年に大正天皇即位の大嘗祭を行う予定であったが、1914（大正3）年4月11日に昭憲皇太后（明治天皇の皇后）が崩御されたことから、大嘗祭は諒闇（りょうあん：天使が父母の死で喪に服する期間）中は行わないことになった。翌、1915（大正4）年4月19日に、即位の礼は11月10日に、大嘗祭は11月14日に行われた。

1916（大正5）年3月に愛知県が、松井茂知事の撰文を「悠紀齋田跡碑」として齋田地跡に建立した。1919（大正8）年には悠紀齋田献穀の光栄を長く記念するため、下青野本郷の村役場前に「齋田記念館」を建設した。その後、老朽化と役場の移転により「齋田記念館」は解体され、貴重な民俗資料は、1987（昭和62）年建設された「六ツ美民俗資料館」（六ツ美支所隣）に移管された。現在では、2012（平成24）年建設された地域交流センター「悠紀の里」に移管された。1924（大正13）年に悠紀齋田奉耕10周年記念として記念碑が建立された。これは早川龍介の撰文で悠紀齋田の選定から供納までが刻まれている。現在は「悠紀の里」にある。

### ・悠紀齋田碑碑文（表）

大正四年十一月

聖上陛下行 即位大禮及 大嘗祭于京都蓋 登極令發以來以此為灌輿先是 勅定悠紀齋田于我愛知縣於是縣謹擇良地指定碧海郡六美村中嶋上丸之内之田田係早川定之助所有乃令定之助膺稼穡供納之任郡村隣保悉力助之齋沐從事夙夜匪懈秋穫告成九月二十日 勅使臨焉行拔穗式十月十六日納之于宮内省蓋耕耘齋田供納嘉穀其職至榮其任至重而官民一致以獲完其功洵我縣之成事也事畢諮之縣會員收齋田地四段齋院地二段為水稱採種田以傳成事於永遠焉夫我邦有瑞穂之稱古來以農為季 大嘗之祭 親薦新穀于 祖宗亦無非此意也庶幾縣民深體 聖意永紀成事益竭力於農耕以建富國之基茂有厚望焉乃記其顛末以詒後世云爾

悠紀地方長官 愛知縣知事從四位勲二等法學博士松井茂謹撰

樂齋 堀尾茂助謹書

蓋：＝蓋、ガイ、ふた、おお（う）、 輿：ヨ、おお（い）、くるま、 于：ウ、ゆく、ああ

擇：＝択、タク、えら（ぶ）、 膺：ヨウ、むね、 穡：シヨク、とりい（れる）

悉：シツ、ことごと（く）、 夙：シュク、はや（い）

懈：＝解、カイ、 焉：エン、ここ（に）

耘：ウン、くさぎ（る）、のぞ（く）、 詒：タイ、のこ（す）、 諮：シ、はか（る）

稱：＝称、しょう、たた（える）、 傳：＝伝、デン、つた（える）、 洵：ジュン、まこと

薦：セン、すす（める）、 體：タイ、からだ、 竭：ケツ、つ（きる）、つ（くす）  
顛：テン、くつがえ（る）、 爾：ニ、なんじ

**【松井 茂（1866～1945）】**

松井茂（まついしげる）は、日本の内務官僚、政治家。1893年東京帝国大学法科大学独法科卒業。1911年静岡県知事、1913（大正2）年愛知県知事を歴任後、1918年警察講習所創設を企図し翌1919（大正8）年警察講習所長となる。

**【堀尾茂助（1861～1940）】**

堀尾茂助（ほりおもすけ）は、日本の政治家、衆議院議員。名は恭、後に茂助と改名。号は樂齋。名古屋電気鉄道会社取締役、新愛知新聞社副社長などを務めた。

・ 悠紀斎田碑碑文（裏）

大正五年三月建立 愛知県



悠紀の里記念碑群 20150731

悠紀斎田碑表  
1916(大正5)年建立  
20160628



悠紀斎田碑表 1916(大正5)年建立 20160628



松井茂



悠紀齋田跡地の碑 六ツ美村誌より転写



本項は以下の資料を引用している。

**[大嘗祭 悠紀齋田]**

筆者： 野々山 克彦

監修： 野村 弘、都築 末二、山崎 鉦司、越山 義之

発行日：2014（平成 26）年 4 月 1 日

印刷所：永田印刷所

**[大嘗祭 六ツ美悠紀齋田 100 周年記念事業記念誌]**

編集・発行：六ツ美悠紀齋田 100 周年記念事業実行委員会記念誌編集委員

発行日： 2016（平成 28）年 2 月 25 日

印刷所： 大日印刷株式会社

**[六ツ美村誌]**

編者 六ツ美村是調査会

発行 六ツ美村是調査会

発行日 1926（大正 15）年 12 月 1 日

発行所 日新堂書店

印刷所 活版印刷所

六ツ美村誌には次のように記載されている。

聖上陛下 即位大禮及 大嘗祭于京都蓋 登極令發以來以此地爲權輿先是 勅定悠紀齋田于我愛知縣於茲我縣謹擇良地指定碧海郡六ツ美村中嶋上丸之内之田田係早川定之助所有乃令定之助膺稼穡供納之任郡村隣保悉力助之齋沐從事夙夜匪懈秋穫告成九月二十日勅使臨焉行拔穗式十月十六日納之于宮內省蓋耕耘齋田供納嘉穀其職至榮其任至重而官民一致以穫完其功洵我縣之盛事也事畢諮之縣會買收齋田地四段齋院地二段爲水稻採種田以傳盛事於永遠焉夫我邦有瑞穗之稱古來以農爲本 大嘗之祭 親薦新穀于 祖宗亦無非此意也庶幾縣民深体 聖意永紀盛事益竭力於農耕以建富國之基茂有厚望焉乃記其顛末以詒後世云爾

悠紀地方長官

愛知縣知事從四位勳二等法學博士

松

井

茂

謹撰

樂齋

堀

尾

茂

助

謹書